

ノーサイド 北原 巖 男

ています。それは真実なの
か、フェイクか、その背景
には何かあるのか？
政府関係機関にて情報分
野に携わる皆さん等は、各
種情報の収集・分析・評価
に取り組み、その成果を速
やかに政策決定権者等に伝
え、彼らの誤りの無き諸施策
の立案や決定、オペレーシ
ョンに反映すべく努めて来
ていたことと思
います。
更にはロシアとウ
クライナの間では、この瞬
間も、激しい、命懸けの、
ます公になることは無いで
あろう諜報活動も行われて
いるに違いないと。も
ちろん、アメリカをはじめ
とする様々な国々でも活発
に展開されていることでし
ょう。
そんなことを考えている
とき、思わず手に取ってみ
たい。それは、
「裏切者は誰だったのか」と「福田村事件」

「裏切者は誰だったのか」と「福田村事件」

本帯には、それは本
「謀報の世界は「鏡の荒
野」だ。目に見えるものだ
けで判断してはならない」
作され、現在公開中。あく
までも、「史実に即した映
画ではなく、史実からイン
スパイアされて創作された
ス。あれから100年。作為
的かつ無責任な誹謗中傷等
の情勢発信に耐えきれず自
ら命を絶つ人もいます。何
らかの意図をもって本物と
しか思えないような精巧に
作成したフェイク画像も
多々拡散されています。
改めて、常日頃からデマ
やフェイク情報等に惑わさ
れない抗堪性や真実を見極
める力の涵養、無責任な内
容の拡散に対する警戒・抑
止に努めて行かなければな
りません。
また、近年その傾向が強
まってきたのではないかと
感じています。
かといわゆる「同
調圧力」です。決
るには何の連絡もありません。こちらから電話す
るのも煩です。断固
致しません。」

北原 巖男(きたはらい
元防衛施設庁長
官。元東ティモール大
使。現日本東ティモール
協会会長。(公社)隊友
会理事

たくなった新刊書に出会
ました。ニューヨーク・タ
ムス紙記者ハワード・ブ
ラム著「裏切者は誰だった
のか」(訳・芝瑞紀、高岡
正人)9月5日原書房刊
職員ヒート・バクレーの苦
闘を通じて、組織に警鐘を
鳴らす貴重な啓蒙の著でも
あると思われました。本書を
読み進めて行く過程で、僕
の視線が止まったのは次の
ような言葉。
「モクラはモクラで捕ま
ない。諜報の仕事において
はなおさらだ」「見て見ぬ
ふりだけはするな...」
嫌なにおい、不快なにおい
がしたときに鼻をつまむ
な。そのにおいを追うんだ」
情報に関連して、先日、
映画「福田村事件」(森達
也監督作品)を観ました。
今年9月1日、1923
年9月1日に発生した関東
大震災から100年目の節
目を迎えたタイミングで製
作され、現在公開中。あく
までも、「史実に即した映
画ではなく、史実からイン
スパイアされて創作された
映画」(森達也監督談)で
す。
関東大震災の5日後、香
川県から千葉県葛飾郡福
田村(現在の野田市)へや
つて来た薬売りの行商の皆
さんは、讃岐弁で話してい
たことから朝鮮の人たちだ
と疑われ、一行15人のうち
親方を含む9名が村の自警
団に殺された史実。震災直
後の、朝鮮の人たちが暴動を
容の拡散に対する警戒・抑
止に努めて行かなければな
りません。
18日が敬老の日。
自衛隊員の皆さん・家
族の皆さん、本紙読者の
皆さんの身近には、ご両
親や祖父母をはじめ高齢
者の方々がおられること
と思います。「年寄り扱
いするな」と言われるか
もしれませんが、まだ皆
さんのお気持ちを伝えて
いないようでしたら、今
かといわゆる「同
調圧力」です。決
るには何の連絡もありません。こちらから電話す
るのも煩です。断固
致しません。」